

令和5年 林業における死亡労働災害（北海道内）

番号	災害発生日時等	年齢等	災害発生状況
5年 NO1	1月14日 午前10時頃	男 69歳	被災者は、チェーンソーを使い、集積された被害木の根株を切断する作業を行っていたところ、付近で別の被害木の集積作業を行っていたグラブルのオペレーターが被災者に気付かないまま、当該被害木をグラブリングでつかんで左旋回したところ、つかんだ被害木の先端が被災者の頭部に激突し、2月に死亡した。
5年 NO2	3月3日 午後4時頃	男 60歳	被災者は、同僚3人と、午前7時からチェーンソーを使い、皆伐による伐倒作業を行っていたが、午後4時頃、沢沿いに立っていたセンノキ（胸高直径28cm、樹高13m）の追い口を切っていたところ、当該木が裂け、元口側が被災者にスライドし、脇腹に激突し、下敷きとなり死亡した。
5年 NO3	7月13日 午前9時頃	男 84歳	被災者は、同僚5名と現場に入場し、チェーンソーを使ってトドマツ（胸高直径28cm、樹高22m）を切り終わり、退避しようとしたところ、何らかの原因で、約4m離れたところに立っていたカバの枯損木の一部が中折れし、約4m落下して、被災者の首の後ろ側に激突し死亡した。
5年 NO4	8月11日 午前11時頃	男 49歳	被災者は、同僚2人と天然林伐倒作業を行っていたが、昼食休憩でグラブリングを止めたところ、運転席に侵入したスズメバチに刺され、アナフィラキシーショックにより死亡した。被災者はエピペンを持っていたが、使用されなかった。